

# Originality

自主編集売場  
オリジナル商品



# マーケット変化への即応と 独自性・収益性の追求

J.フロント リテイリングは、百貨店の売場運営形態を「自主運営」と「ショップ運営」の2つに峻別し、ビジネスモデルの改革を進めています。

自主編集売場は、ショップ運営売場と異なり、百貨店自らの意思と判断で売場の拡大・縮小や品揃えの変更を自由に行うことが出来るため、マーケットやお客様の変化にスピーディに対応することが可能です。駅ビルやSCなど他の業態にはない百貨店独自の強みであり、かつ他の百貨店との差別化という意味でも有効な手段となります。またショップ運営売場に比べて粗利益率が高いため、効果的・効率的な運営ができれば収益力の強化につながります。

## 自主編集売場を事業運営型組織へ

当社は、2011年9月、新百貨店モデルをより進化させるため、本社MD部門を従来の商品分類別の組織から、売場運営形態に対応した「自主事業統括部」「ショップ運営統括部」に再編しました。

自主事業統括部は、主に婦人雑貨(婦人洋品、ハンドバッグ、婦人靴)と紳士雑貨(ネクタイ・洋品、ワイシャツ、紳士肌着・靴下、カバン、旅行用品、紳士靴)を自主編集売場として展開。マーケティングから仕入調達、販売、損益管理に至るまで、「仕入れて売る」すべてのプロセスを一貫して計画管理する「事業運営型組織」として生まれ変わり、本社だけでなく、各店で自主編集売場のマネジメントや販売、店独自の仕入を行う人員もすべて傘下としながら、バーチャルな事業体として最終損益に責任を持ちます。



トロージャン (TROJAN)

日本の紳士服がほとんどオーダーメードだった1959年に既製紳士服の先駆けとして大丸で誕生。百貨店初のPBとして50年以上にわたり多大なご愛顧を頂いています。トロージャンとは「トロイの戦士(=勇士・奮闘家)」を意味します。着心地を第一に高品質な素材や仕立ての良さと今日性をも融合させ、ビジネスマンに向けた安心で信頼できる価値の高い品質を、お客様にご納得頂ける価格でご提供しています。

これにより、婦人、紳士など商品分類の垣根を越えた商品展開が容易になるとともに、自主事業統括部内の売場の繁閑に応じてフレキシブルに販売体制を変更することが可能になりました。また店ごとの損益管理を徹底することにより、人的生産性の向上を含めた利益志向のマネジメントへと価値観の転換が進んでいます。

## 新たな編集売場の開発

自主事業統括部では、雑貨ショップとしての「楽しさ、新しさ、ワクワク感」を表現するために、既存のアイテム売場を圧縮・効率化し、新しいマーケットがあると予測される新たな編集売場を期間限定で展開しています。おしゃれに女子会を楽しむための洋品雑貨を集積した「クリスマス女子会」、日本の職人が作るこだわりの鞄、革小物などを集めた「サムライレザー」などいずれも従来のカテゴリーにとらわれないテーマ編集で展開し、好評を博しました。このようなトライアルの中で、今後「マーケットが確実にある」と判断できたものは、常設売場としての展開も検討していきます。

## マーケット変化への即応

シーズンやマーケットの変化に応じて「今お客様が欲しているアイテム」を拡大し、「ニーズの少ないアイテム」を縮小するといった売場の変化対応を、百貨店自らの意思で、自由自在に行うことが出来るのが、自主編集売場の特徴です。2011年下期には気温が平年を下回った1、2月に機動的に手袋、マフラーなど防寒アイテムを拡大し、売上の拡大につなげることが出来ました。今後もクールビズ

対応やレイン対策、カレンダーギフトマーケットへの対応など、日々刻々と変化するお客様のニーズにスピーディかつダイナミックに対応し、売上の拡大につなげていきます。

## その他の自主編集売場

婦人雑貨、紳士雑貨以外の自主編集売場として、婦人服のプライベートブランド(PB)である「ソフル」、アイテム編集売場の「シーズンメッセージ」「ジーニングカジュアル」、ワールド社とのコラボレーション事業である「エッシュ」、紳士服のPB「トロージャン」があります。いずれも百貨店への信頼をベースに、品質と価格のバランスがとれたオリジナル商品や、ターゲットを明確にした編集売場を開設し、お客様の支持を集めています。 ソフル(SOFUOL)



## 外部出店を視野に入れた取り組み

自主事業統括部がスタートして最初の半年となる11年度下期の売上高は、対前年7.3%増と好調に推移しました。今後はメンズ、レディスの垣根を越えたダイナミックな売場の拡大・縮小や、新たな編集売場の展開によって売上拡大を目指すとともに、完全買取商品をはじめとする高益率商品の仕入拡大や、販売体制の強化による消化率の向上などにより、さらなる収益力の強化をはかっていきます。また自主事業統括部は、将来的には別会社化し、他の商業施設へ出店することも視野に入れています。

